ときわまつ

行事を通して培う力

副校長　棗　まゆみ

過ごしやすい秋の季節になりました。秋といえば、「○○の秋」。○○に入る言葉は、人それぞれだと思いますが、代表的な言葉といえば「スポーツ」「読書」「食欲」「芸術」などがあります。なぜ秋だけがこのような言われ方をするのか疑問に思い調べてみたところ、理由が分かりました。「気候がちょうど良い」からだそうです。秋の２０度～２５度位の気温は集中力がアップし、特に２１度、２２度はパフォーマンスが向上するという研究結果も出ているそうです（参考 Effect of temperature on task performance in office environment）。過ごしやすく、集中でき、パフォーマンスが向上しやすい秋。子供たちには、様々な場面で自分の力を思う存分に伸ばしてほしいと思っています。

秋の大きな学校行事といえば、「学芸会」。十月には学芸会に先立ち、劇「トラの恩がえし」（オペレッタ劇団ともしび）を全校児童で観ました。東京都教育委員会の「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」として常磐松小の体育館で実施したのですが、とても楽しい劇で、子供たちの笑顔をたくさん見ることができました。学芸会前に、子供たちにとって笑顔と学びのよい体験になったのではと感じています。また、十一月に行われる学芸会に向けても、自分の演技を考える「きっかけ」になればと願っています。

学芸会に向け、各学年の演目も決まり、台本も子供たちに配布されました。どの学年も、十一月十七日(金)・十八日(土)に向け、取組を進めているところです。

学習指導要領には次のように「学校行事の目標」が示されています。

「全校又は学年の児童で協力し、よりよい学校生活を築くための体験的な活動を通して、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養いながら、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。」

・「第1の目標」とは特別活動の目標

(一)多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。

(二)集団や自己の生活、人間関係の課題を見いだし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意志決定したりすることができるようにする。

(三)自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め自己実現を図ろうとする態度を養う。

学芸会という行事を通して、一人一人の子供たちに必要な力や資質・能力をよりよい形で伸ばせるよう、教職員一同、指導・支援等していきます。

衣装等についても、近くなりましたら御連絡を差し上げると思いますが、御協力をよろしくお願いいたします。御家庭で、学芸会のことを話題にして子供たちと話をしたり、頑張りを励まし、応援したりしていただけると嬉しいです。

◎各学年の「めあて」と劇について

【一年】劇「おたまじゃくしの一〇一ちゃん」

一年生は、大きな声を出すことを頑張ります。見どころは、スクラムを組んで力を合わせてお母さんを助けるところです。

【二年】劇「32・5ページ」

緊張をプラスにして登場人物の気持ちが見ている人に伝わるように演技を頑張ります。最後はどうなるのか…。お楽しみに。

【三年】劇「タヌキの恩がえし」

三年生は、見る人に笑顔を届けられるように頑張ります。かわいいタヌキたちの歌や掛け合いの場面が見どころです。

【四年】劇「オズの魔法使い」

四年生は、心を一つにしてみんなで劇を作り上げます。子供たちの台詞だけではなく、歌も見どころです。

【五年】劇「子供帝国の逆襲」

目標は「成長を見せること」です。物語は、子供たちの意見からつくりあげました。小学校生活最後の劇。「熱」を感じてほしいです。

【六年】劇「走れ　メロス」

六年生として、かっこいい姿を下級生に見せられるように真剣な演技を目指します。普段と違う子供たちの一面をご覧ください。

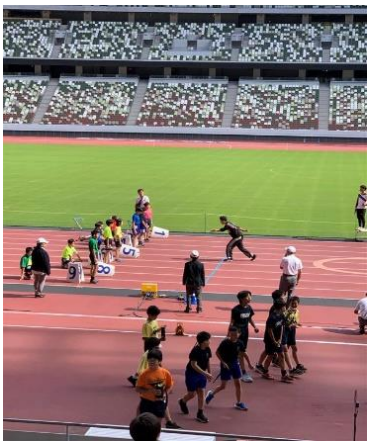
六年　陸上記録会
十月十一日（水）

気持ちの良い秋晴れの中、六年生は渋谷区陸上記録会に参加しました。会場は、東京オリンピックの会場にもなった国立競技場です。日本大会や世界大会も行われる会場はテレビで見るよりも大きく、その迫力に圧倒されました。

本番を迎えるまでに、一人一人が自分の最高記録を目指し、友達と協力しながら練習に取り組みました。校内では、教員の練習補助、下級生からの応援、さまざまな人の支えによって、練習を乗り切ることができました。

記録会当日、子供たちは競技場の迫力に負けないように、思い切り競技に取り組みました。最後まで諦めずに競技をする姿、仲間を全力で応援する姿、六年生の素敵なところがさらに輝く時間となりました。

この記録会で得た、「全力で頑張る」その姿を、これからも学校生活で示してほしいと思います。



観劇会
十月十九日（木）

「笑顔と学びの体験プロジェクト」として、「オペレッタ劇団ともしび」による『トラの恩がえし』を全校で鑑賞しました。迫力のある演技や美しい歌声、朝鮮半島の民族楽器の生演奏などによって子供たちはすぐにお話の世界に引き込まれ、あっという間の一時間半でした。劇の最後には、朝鮮半島に伝わる大道芸も披露していただき、体育館が拍手と歓声でいっぱいになりました。

来月の学芸会に向けた練習が始まったばかりの子供たちにとって、声の出し方や体の動きなど、自分たちの発表に生かせることが多くありました。

六年　社会科見学
十月二十日（金）

今回の社会科見学では、鎌倉周辺を見学しに行きました。

見学のスタートは、高徳院です。堂々と座る大仏は、教科書で見るよりも迫力がありました。大仏の中にも入ることができ、貴重な体験と共に、当時の人のエネルギーを感じました。続いては、長谷寺です。四季折々に咲く草花が全体に広がり、厳かな雰囲気を醸し出していました。そして、段葛を歩いて見えてくるのは、鶴岡八幡宮です。大きな鳥居をくぐり、進んでいくと立派な境内が広がります。最後は、子供たちが楽しみにしていた、小町通りでの買い物です。お小遣いの範囲内でやりくりしながら、買い物を楽しみました。

今回は班行動が多くありましたが、声を掛け合って、時間を意識して行動することができました。これまでの社会科見学で学んできたことを発揮できた社会科見学になりました。

いじめの相談窓口について①

十一月と一月は、学校生活のことで、困ったときや、気になったことがあるときの相談窓口を御紹介します。

皆さんはお子さんの学校生活のことで、気になっていることや、困っていることはありませんか。「いじめられていないかな？」と、いじめに関して不安に思われる方も少なくないと思います。そのようなとき、皆さんはどうしますか。周りの保護者の方に相談したり、インターネットで相談をしたりと、いろいろと解決を図る方法があると思いますが、学校にも御相談ください。

【クラスの担任】 お子さんのことを一番近くで見ている担任が、まず御相談にのります。内容によっては、担任には相談しづらい場合もあると思いますので、担任以外でも相談窓口となる教職員を紹介いたします。

【生活指導主任】 いじめのトラブルや、クラスの気になる雰囲気など、お子さんの安全・安心な生活に関する御心配がありましたら、すぐにお知らせください。

【養護教諭】 日々子供たちと接していますので、特に健康面の細かなことにすぐに気付く立場にいます。健康上や成長に関することなど、「心身の健康相談」については、養護教諭に御相談ください。

担任をはじめ、全教職員で連携しながら絶えず子供たちの様子を見ていますが、日々お子さんのことを見ていらっしゃる保護者の皆様の気付きは、いじめの防止や早期発見にとって不可欠なものです。

いじめの早期解決のためには、できるだけ早い対応が大切です。家庭と連携しながら、継続的に対応・支援をしていきますので御協力をよろしくお願いいたします。

■十一月の生活目標■

力を合わせて
係や当番の仕事をやりぬこう

■すこやか目標■

命の大切さを考えよう

学芸会まで二週間となりました。

行事に取り組む中で子供たちが、活発に活動する姿が見られます。活動ごとに振り返りの時間をしっかりとるなど、さらに指導を充実させていきたいと思います。

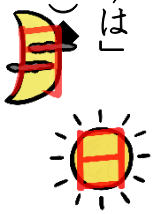
また後期より縦割り班清掃も始まっています。全学年が、各教室掃除を分担して行っています。一年から六年までの全校児童が互いに協力し合って行う中で、責任をもつことの大切さを学び、継続して取り組むことで、達成感を味わうことができるようにしていきます。

最後になりましたが、十一月は人権強化月間、「ふれあい月間」です。

児童アンケートなど様々な取組を通して、命の尊さを実感し、互いの存在や人格を尊重し合い、相手を思いやる心・実践力を育てていきます。いじめの未然防止、早期発見、早期対応に向けた取組をさらに充実させ、子供たちが生き生きと意欲的に学校生活を送ることができるように人権教育を進めていきます。

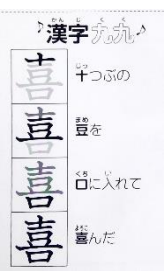
特別支援教室「ゆずりは」

◆教科の補充（漢字）



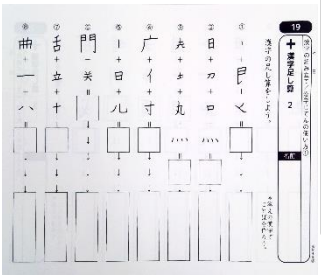
子供たちの中には、繰り返し漢字を書くだけでは、漢字を覚えることができない子がいます。ゆずりはでは、その子の特性に応じた漢字の練習方法を一緒に探ります。

唱えて覚える



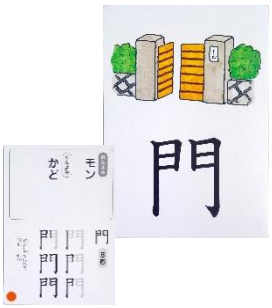
漢字をパーツごとに分解し、算数のかけ算九九のようにリズムをつけて唱えます。

パーツに分けて覚える



パーツを足して、漢字を完成させます。細かい部分まで注目して書くことができます。自分で漢字たし算を作るのもおすすめです。

意味とつなげる



同音異字をよく間違える子は、漢字の意味を示すイラストとセットで漢字を覚えることで、間違いをなくします。

直通電話・〇三-三四八六-五一〇八

ゆずりは教室　担任　朝倉　美紀